

平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月8日

上場取引所 東

上場会社名 佐渡汽船株式会社

コード番号 9176 URL <http://www.sadokisen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小川 健

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 尾崎 弘明

TEL 025-245-2311

四半期報告書提出予定日 平成26年5月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	2,144	18.1	△636	—	△689	—	△692	—
25年12月期第1四半期	1,816	△2.7	△813	—	△830	—	△830	—

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 △695百万円 (—%) 25年12月期第1四半期 △850百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	△48.99	—
25年12月期第1四半期	△59.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	23,060	2,182	7.6
25年12月期	16,567	2,875	14.8

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 1,756百万円 25年12月期 2,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	—	—	0.00	0.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年12月期の配当につきましては、現段階では未定とさせていただきます。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	12,622	3.3	395	191.0	274	186.7	215	819.5	15.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期1Q	14,275,450 株	25年12月期	14,275,450 株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	141,437 株	25年12月期	141,437 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期1Q	14,134,013 株	25年12月期1Q	13,922,094 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページをご参照ください。
(注)当社グループの売上高は事業の性質上、第3四半期に著しく増加する傾向があり、年次により業績管理を行っているため、平成25年12月期の業績予想から通期のみの発表といたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種経済政策により企業収益や個人消費の一部に改善の兆しが見られたものの、消費税増税に伴う影響が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループにおきましては、当第1四半期連結累計期間は比較的穏やかな気象・海象であったため、欠航による影響は前年同期より減少しました。また、前年4月に吸収合併した日本海内航汽船(株)の業績が加わった他、消費税増税前の駆け込み需要により貨物及びトラック輸送が堅調であったことから、業績は前年同期を上回りました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は2,144,607千円(前年同期比18.1%増)、営業損失は636,263千円(前年同期は813,671千円の営業損失)、経常損失は689,894千円(前年同期は830,466千円の経常損失)、四半期純損失は692,388千円(前年同期は830,364千円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。なお、当社グループの売上高は事業の性質上、第3四半期に著しく増加する傾向にあり、季節的変動が顕著であります。

①海運

当第1四半期連結累計期間の旅客輸送人員は223,375人(前年同期比0.6%増)、自動車航送台数は乗用車換算で40,897台(前年同期比8.4%増)、貨物輸送トン数は48,784トン(前年同期比78.0%増)となりました。

輸送実績は、前年4月に吸収合併した日本海内航汽船(株)の業績が加わったこと、消費税増税前の駆け込み需要により貨物輸送及びトラック航送が大幅に増加しました。また、旅客輸送についても前年同期と比較して欠航の影響が少なかったため堅調に推移しました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は1,389,184千円(前年同期比20.0%増)、セグメント損失(営業損失)は563,300千円(前年同期は705,119千円のセグメント損失(営業損失))となりました。

②一般貨物自動車運送

消費税増税前の駆け込み需要により貨物の取扱量が大幅に増加したことから、売上高及びセグメント利益(営業利益)は増加しました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は475,657千円(前年同期比22.2%増)、セグメント利益(営業利益)は20,516千円(前年同期は20,856千円のセグメント損失(営業損失))となりました。

③売店・飲食

当第1四半期連結累計期間は、佐渡汽船商事(株)において前年同期に行われていた両津港ターミナル耐震工事に伴う食堂の休業がなかったことから、売上高は増加しました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は190,608千円(前年同期比4.8%増)、セグメント損失(営業損失)は45,796千円(前年同期は43,728千円のセグメント損失(営業損失))となりました。

④観光

前第1四半期連結累計期間は荒天による欠航の影響により、個人客を中心とした観光客やビジネス客が大きく減少しましたが、当第1四半期連結累計期間は欠航が少なかったため、売上高は増加しました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は45,406千円(前年同期比12.9%増)、セグメント損失(営業損失)は46,597千円(前年同期は51,380千円のセグメント損失(営業損失))となりました。

⑤その他

当第1四半期連結累計期間は、建物サービス業において清掃業務受注時期のずれにより売上高は減少しました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は43,752千円(前年同期比6.8%減)、セグメント損失(営業損失)は9,077千円(前年同期は672千円のセグメント利益(営業利益))となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ6,492,932千円増加し、23,060,531千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ3,358,191千円増加し6,508,012千円となりました。これは借入により現金及び預金が2,963,691千円増加したこと及びその他流動資産が346,101千円増加したことが主な要因であります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ3,114,454千円増加し16,512,135千円となりました。これは船舶建造に係る建設仮勘定が3,129,503千円増加したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ7,186,260千円増加し20,878,434千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ3,580,717千円増加し12,213,879千円となりました。これは短期借入金が408,000千円増加したこと、1年内償還予定の社債が161,560千円増加したこと、賞与引当金が126,612千円増加したこと、船舶建造に係る前受補助金が2,619,896千円増加したこと、その他が209,288千円増加したことが主な要因であります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ3,605,543千円増加し8,664,555千円となりました。これは社債が889,440千円増加したこと、船舶建造資金及び運転資金としての長期借入金が2,700,538千円増加したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ693,328千円減少し2,182,097千円となりました。これは692,388千円の四半期純損失を計上したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成26年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,490,601	4,454,292
受取手形及び売掛金	752,873	785,533
たな卸資産	676,941	692,391
繰延税金資産	73,026	73,026
その他	163,775	509,876
貸倒引当金	△7,395	△7,106
流動資産合計	3,149,821	6,508,012
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	1,199,719	1,174,583
建物(純額)	3,351,458	3,310,761
土地	1,907,804	1,902,743
建設仮勘定	5,357,968	8,487,471
その他(純額)	798,195	816,990
有形固定資産合計	12,615,144	15,692,548
無形固定資産		
のれん	11,124	10,654
その他	293,867	308,365
無形固定資産合計	304,991	319,019
投資その他の資産		
投資有価証券	160,483	168,719
長期前払費用	219,124	240,580
繰延税金資産	31,609	29,657
その他	68,297	63,579
貸倒引当金	△1,967	△1,967
投資その他の資産合計	477,546	500,568
固定資産合計	13,397,681	16,512,135
繰延資産		
社債発行費	20,097	40,384
繰延資産合計	20,097	40,384
資産合計	16,567,599	23,060,531

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	390,523	503,922
短期借入金	1,975,000	2,383,000
1年内返済予定の長期借入金	1,913,213	1,882,319
1年内償還予定の社債	98,000	259,560
未払法人税等	31,125	3,981
賞与引当金	40,284	166,896
前受補助金	3,572,238	6,192,134
その他	612,779	822,067
流動負債合計	8,633,162	12,213,879
固定負債		
社債	803,000	1,692,440
長期借入金	3,306,415	6,006,953
退職給付引当金	652,143	658,719
役員退職慰労引当金	48,022	44,883
特別修繕引当金	103,943	115,659
負ののれん	1,858	929
資産除去債務	36,571	36,714
その他	107,060	108,258
固定負債合計	5,059,012	8,664,555
負債合計	13,692,174	20,878,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,135	843,135
資本剰余金	680,992	680,992
利益剰余金	978,898	286,510
自己株式	△72,176	△72,176
株主資本合計	2,430,849	1,738,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,679	18,178
その他の包括利益累計額合計	20,679	18,178
新株予約権	45,646	50,121
少数株主持分	378,251	375,337
純資産合計	2,875,425	2,182,097
負債純資産合計	16,567,599	23,060,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,816,036	2,144,607
売上原価	2,380,872	2,539,104
売上総損失(△)	△564,836	△394,497
販売費及び一般管理費	248,835	241,766
営業損失(△)	△813,671	△636,263
営業外収益		
固定資産賃貸料	19,224	18,693
受取利息	146	142
受取配当金	478	417
その他	10,966	15,727
営業外収益合計	30,814	34,979
営業外費用		
支払利息	39,284	32,471
固定資産賃貸費用	4,650	5,979
シンジケートローン手数料	—	42,938
その他	3,675	7,222
営業外費用合計	47,609	88,610
経常損失(△)	△830,466	△689,894
特別利益		
固定資産売却益	4,514	1,825
特別利益合計	4,514	1,825
特別損失		
固定資産売却損	—	2,106
固定資産除却損	1,133	388
特別損失合計	1,133	2,494
税金等調整前四半期純損失(△)	△827,085	△690,563
法人税、住民税及び事業税	3,214	3,230
法人税等調整額	24,784	△1,497
法人税等合計	27,998	1,733
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△855,083	△692,296
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△24,719	92
四半期純損失(△)	△830,364	△692,388

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△855,083	△692,296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,318	△3,134
その他の包括利益合計	4,318	△3,134
四半期包括利益	△850,765	△695,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△826,154	△694,889
少数株主に係る四半期包括利益	△24,611	△541

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,157,690	389,255	181,917	40,208	1,769,070	46,966	1,816,036
セグメント間の内部売上高 又は振替高	497	77,837	5,263	101,544	185,141	40,761	225,902
計	1,158,187	467,092	187,180	141,752	1,954,211	87,727	2,041,938
セグメント利益又は 損失(△)	△705,119	△20,856	△43,728	△51,380	△821,083	672	△820,411

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△821,083
「その他」の区分の利益	672
セグメント間取引消去	6,740
四半期連結損益計算書の営業損失	△813,671

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,389,184	475,657	190,608	45,406	2,100,855	43,752	2,144,607
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	73,125	5,490	96,793	175,414	54,997	230,411
計	1,389,190	548,782	196,098	142,199	2,276,269	98,749	2,375,018
セグメント利益又は 損失(△)	△563,300	20,516	△45,796	△46,597	△635,177	△9,077	△644,254

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△635,177
「その他」の区分の利益	△9,077
セグメント間取引消去	7,991
四半期連結損益計算書の営業損失	△636,263

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。